

下野新聞
認知症カフェプロジェクト
過去の特集はこちら！



Vol.20 あれ？もしかして認知症？と思ったら

誰もがなる可能性がある認知症。それは自分自身かもしれないし、自分の家族かもしれません。自分自身や身近な人がそのような状況になった時、どのような行動をとればいいのでしょうか。

監修 / 栃木県保健福祉部高齢対策課 企画制作 / 下野新聞社 営業局

下野新聞 認知症カフェ プロジェクト2023



認知症疑い〜相談、日常生活への流れ

これからの生活について
相談したい

各市町の認知症 地域支援推進員配置先一覧



地域包括支援センター等

認知症地域支援推進員

認知症の人やその家族等
への支援や医療・介護等の
支援ネットワーク構築等を行
います。

認知症の人と家族の会

認知症の人やその家族のための電話相談や来所相談などにより、本人の孤立感や家族介護の悩みなど心の負担軽減を図る取組が行われています。

認知症の人と家族のための電話相談(県委託事業)

電話相談:月曜日〜金曜日 13:30〜16:00(年末年始・祝日を除く)

☎028-627-1122

来所相談:毎月第4水曜日(祝日の場合は前週の木曜日) とちぎ健康の森1階

地域の社会資源

認知症カフェ

認知症の人やその家族、地域住民、介護や福祉などの専門家など誰もが気軽に集い、情報交換や相談、認知症の進行を緩やかにしたり症状の改善を目指した活動ができる場所です。

チームオレンジ

認知症サポーターと認知症の人、家族の支援ニーズをつなげる仕組みです。チームには認知症の人、家族も加わって、支援する側、される側に関わらず、外出支援、見守り、声かけ、話し相手等、様々な活動として広がっています。

栃木県内 認知症カフェ



認知症以外の
病気ではないことの
確認が大切です。

家族で抱えこまず
家族のほかに
相談できる人や場所を
持っておきましょう

介護保険サービス

気づき

まずは気軽に
相談して
みましょう

診断

日常生活

日常診療

病気かどうか 確かめたい

かかりつけ医

とちぎオレンジドクター
もの忘れや認知症の「相談」などができる医師として、栃木県が認定した医師。



連携

認知症疾患 医療センター

認知症疾患に関する医療の中核機関として、都道府県等が指定した病院。鑑別診断、専門医療相談などを行います。

県内認知症疾患 医療センター



精神科や神経内科等を
標ぼうする病院



認知症は
高齢者だけとは限らない！

若年性認知症

「若年性認知症」は、65歳未満で発症する認知症のことです。若年性認知症は、いわゆる現役世代で発症しますが、若年性認知症に対する認識が不足し、診断される前に症状が進行し社会生活が事実上困難となるケースや、本人やその家族、企業及び医療機関が若年性認知症を知っていても、活用が可能な福祉や雇用の施策があまり知られていないことなどから、経済的な面も含めて本人とその家族の生活が困難になりやすいことが指摘されています。

相談窓口

若年性認知症電話相談【認知症の人と家族の会栃木県支部(県委託事業)】

若年性認知症の人やその家族、若年性認知症の人が利用する関係機関及び若年性認知症の人を雇用する企業等からの各種相談に応じ、必要な支援制度やサービス等を紹介します。

毎週土曜日 午後1時30分〜午後4時(年末年始・祝日を除く) ☎028-627-1122

全国若年性認知症コールセンター【認知症介護研究・研修大府センター】

月曜日〜土曜日 午前10時〜午後3時(年末年始・祝日を除く) ☎0800-100-2707

共生社会を目指して「認知症基本法」が成立

認知症の高齢者は2020年には約600万人でした。しかし、団塊の世代が全て75歳以上になる2025年には高齢者の5人に1人、約700万人に増えると言われていました。また65歳未満で発症する若年性認知症の人も全国に約3万5000人と推計されています。こうした中、今年6月に、認知症の人が尊厳を保持しつつ暮らすことができるよう、認知症の人を含めた国民一人一人が個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生社会の実現を推進することを目的とした認知症基本法が成立しました。国は、認知症の人や家族などで構成する関係者会議を設け意見を聞いた上で、施策を推進するための基本計画を策定し、認知症施策を推進していきます。

認知症基本法の主なポイント

学校や地域で認知症への理解を深める教育や啓発運動

交通安全の確保や地域における見守り体制の推進

雇用の継続など社会参加機会の確保

予防に関する啓発や早期発見・早期対応の推進

保健医療・福祉サービスの提供体制の整備

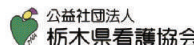
本人およびその家族らが相談しやすい体制の整備

予防・診断・治療・リハビリテーションなどの研究の推進

意思決定の支援及び権利利益の保護

認知症への理解を深め、認知症になっても本人やその家族が住み慣れた地域で自分らしく過ごせる共生社会の実現を目指していきましょう。

私たちは「下野新聞認知症カフェプロジェクト」を応援しています。



応援医療機関

赤羽医院

宇都宮第一病院

宇都宮リハビリテーション病院

皆藤病院

長島医院

那須赤十字病院

那須南病院

根本医院

真岡中央クリニック

吉沢眼科医院(五十音順)

とちぎ
マルゴト健康
100

とちぎの皆様が
健康で100歳を迎えられるように。

それが私たち宇都宮ヤクルトの願いです。

「健腸長寿」で健康はご自身で守るサポートをしています。

宇都宮ヤクルトでは、腸を丈夫にすることが健康で長生きにつながる「健腸長寿」というテーマで、地域の公民館や高齢者施設にて健康教室を行っています。



すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人の
健康的な生活を保護し、福祉を推進する

宇都宮市南中久保自治会公民館様での健康教室の様子

お問合せ

宇都宮ヤクルト販売株式会社 栃木県宇都宮市瑞穂3-9-8

フリー
ダイヤル



0120-47-8960

受付時間

平日(月曜日〜金曜日)
9:00〜17:00



ついでに!
気軽に!
ちょっとずつ!

フレイル予防

「フレイル」をご存知ですか?「フレイル」とは、加齢とともに心身のはたらき、社会的つながりが弱くなった状態を指します。
フレイルの予防は日々の習慣と結びついています。**早い時期から適切な取り組みを行うことで、フレイルを予防**することができます。やりたいことや好きなことを楽しく続けていくために、フレイル予防の3つのポイントである**「栄養、運動、社会参加」**を毎日の生活に取り入れ、今からできることを少しずつ無理なく始めませんか?

栃木県保健福祉部高齢対策課 TEL028-623-3148
健康長寿とちぎWEBで、フレイル予防の取り組みを詳しく紹介しています **健康長寿とちぎ フレイル予防** **検索**